

かながわ教育大綱

～ 神奈川県教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱 ～

1 「いのち」を大切にすることを育む教育の推進

- 「いのち」や他者との関わりを大切にすることを育む「いのちの授業」に取り組みます。
- 子どもたち一人ひとりの人権を尊重するとともに、心を大切にすることを推進します。また、いじめの未然防止、早期発見・解決を図り、暴力行為、不登校など課題を抱えた児童・生徒への支援などの対応を強化します。
- 規範意識と公共の精神の醸成に向けた道徳教育の充実に取り組みます。

2 生きる力を育み、学び高め合う学校教育の推進

- 子どもたちの生きる力を育むため、確かな学力の向上を図るとともに、社会との関わりの中で、働き方をはじめ、生涯にわたる生き方を見つけていく力を養うキャリア教育の実践、企業との連携による職業教育の充実に取り組みます。
- 子どもたちの健全な心と体を培い、豊かな人間性を育むため、遊び・運動の奨励、運動部活動の活性化や児童生徒の健康・体力づくりを推進するとともに、食育の普及啓発を図ることなどにより、子どもの未病対策を進めます。
- 国際バカロレア認定校の設置や英語に関する外部検定試験の活用、現代から過去に遡って学ぶ「逆さま歴史教育」などを取り入れた歴史教育の充実などにより、自国の歴史や伝統・文化についてより深い理解力を身につけたグローバル人材の育成を図ります。
- ICTを活用した効果的な授業やプログラミングに関する学習を積極的に行い、情報化に対応した人材育成に取り組みます。
- 支援教育の理念のもと、共生社会の実現に向け、障がいのあるなしにかかわらず、できるだけすべての子どもが同じ場で共に学び共に育つことをめざすインクルーシブ教育を推進します。また、タブレットを活用した授業の実施、就労支援体制の充実など、特別支援教育の充実を図ります。

3 豊かな学びを支える教育環境づくり

- 教育の質の向上を図るため、意欲と指導力のある教職員の確保・育成に取り組みます。
- 魅力あふれる公立学校づくりを進めるため、小中一貫教育校の導入、学び直しのためのクリエイティブスクールの増設など、生徒数や地域バランスに配慮した県立高校の再編・統合に取り組みます。また、私立高校の活性化の促進に取り組みます。

- 安全・安心で快適に学べる教育環境を整備します。また、ICTによる校務の効率化や退職教員などの活用により、教員が生徒に向き合う時間を確保できる環境づくりに取り組みます。
- 学習活動に地域の方や企業などの協力を得るなど、学校教育を支援する取組みを進めます。

4 子ども・子育て、家庭教育への支援

- 待機児童ゼロをめざすなど、市町村と連携して、子育て家庭のニーズに応じた幼児期の教育・保育環境の充実を図るとともに、小学生の放課後対策の充実などにより、子ども・子育てを社会全体で支援する取組みを進めます。
- 地域や企業などの理解や協力を得ながら、社会全体で家庭教育を支援する取組みを進めます。
- 高校生等の一人ひとりの家庭環境に応じた就学支援に取り組みます。

5 様々な学びを通じた地域の教育力の向上

- 活力あるコミュニティづくりのため、コミュニティ・スクールを活用して地域の教育力を高めます。
- 学校を地域の核として、地域の学習、社会参加や貢献の機会の充実などを図り、地域の絆を強めていきます。

6 文化・芸術やスポーツ活動など生涯学習社会における人づくりへの支援

- 明日のかながわを担う子ども・若者が個性と能力を伸ばすとともに、文化芸術活動の充実を図るために、文化芸術の魅力で人を引きつけるマグカル（マグネット・カルチャー）の取組みを展開し、新しい文化の創造と発信に努めます。
- 図書館・博物館など社会教育施設における生涯学習の機会の充実や、文化遺産の保存、活用に取り組みます。
- 県内各地の伝統芸能が、その価値を認められ、コミュニティの中で確実に引き継がれていくよう、継承者の育成支援などに取り組みます。
- 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、健康で豊かな生活ができる生涯スポーツ社会の実現をめざすとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えたアスリートの育成や、県立体育センターの再整備を行います。
- すべての人が自分の運動機能を生かして楽しみながらスポーツする、観る、支える「かながわパラスポーツ」の普及に取り組みます。

平成27年7月30日